

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立東温高等学校
学校番号(26)

評 価 実 施 日	令和4年2月7日(月)書面開催
委 員	学校評議員 5名
	学校関係者評価委員 3名

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路や学力に応じて、わかりやすい授業の工夫に努め、生徒が主体的に授業に参加できるように取り組んでいただきたい。特に、ICTを活用した授業については、効果的な指導の在り方を調査研究したり、先進校の指導方法を取り入れたりして工夫していただきたい。 ・ コロナ禍でリモートによる授業など大変であったと思われませんが、今後まだまだ続くことが予想されるので、今後も家庭学習が充実を継続していただきたい。 ・ 読書習慣の大切さを引き続き指導していただきたい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療、福祉系の就職が少ないのが少し寂しいです。 ・ 教職員の進路に対する評価が低くなっており、より高い目標を持たせる必要性を感じる。 ・ 東温高校に行けば「こんな勉強ができて、こんな資格が取れて、こんな出口がある」というような目玉となる進路指導の特色があれば入学生徒数の増加につながるのではないか。 ・ コロナ禍で企業の求人も変動しており、その中での就職活動は大変苦労していると感じる。 ・ インターンシップについては、キャリア教育の観点からも事前・事後指導を充実し、積極的な就職活動に努めていただきたい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教員によって指導の仕方が違うことを耳にしている。統一が必要ではないか。 ・ SNS等の利用においては、根底にあるモラルの遵守を目指し、社会に参画する意義を理解させるよう努めてもらいたい。 ・ インターネットによるなりすまし詐欺などトラブルが多発しています。危険性を理解させて、取り返しのつかない事態にならないよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一台端末と電子黒板が導入され、ICT教育の環境が一気に整った。しかし、これらを有効活用しなければ意味がない。研修等を重ね、生徒が主体的に参加できる授業を構築し、教員も成長しなければならない。 ・ 来年度から「スタディサポート」を導入する予定である。形だけにならないよう、端末を利用した家庭学習の充実に努めたい。 ・ 朝読書や図書委員からの啓発等を通じて、読書の大切さを指導していきたい。 ・ 医療、福祉系を希望する生徒の多くは専門学校に進学している状況である。 ・ 多種多様な生徒の進路に対応し、進学後の学力も保障するために、来年度から補習の在り方を大幅に見直した。 ・ 1年次から進学に対する意識を高める必要性を感じている。保護者に対しても講演等を通じて、進学意識を高めていきたい。 ・ コロナによる影響はあまり感じられないが、先行き不透明なことに変わりはない。インターンシップ等を通じて、地域と連携し、地域の将来を担う人材の育成に努めていきたい。 ・ 統一した指導を行いやすいように、規程を見直した。 ・ 情報の授業や警察による非行防止教室を通じて、SNSの利用について注意喚起を行っている。学校としても、生徒の周辺に危険が潜んでいることを忘れないようにしなければならない。

に指導が必要。

- ・欠席が気になる生徒については、本人のみならず、家庭への適切な働きかけや支援に努めていただきたい。
- ・来年度から成人年齢の引き下げにより、社会的責任を負うことになる。高校生は、まだ自覚が乏しいので、関係機関と連携した指導が必要ではないか。

(4) 特別活動

- ・コロナ対応2年目で難しいところもあったかもしれないが、そのような中で工夫できたことを今後の活動に生かしてほしい。
- ・部活動については、決して指導者が勝利至上主義に陥ることなく、本来のスポーツを通して楽しむ喜びを教えていただきたい。

(5) 人権・同和教育指導

- ・生徒だけでなく、保護者への情報提供、情報共有により今後も人権・同和教育の推進に努めていただきたい。
- ・生徒、保護者、教職員共に評価が高くなっている。日常からの取組、地域や保護者への広報や啓発など参考にしていきたい。
- ・いじめに関する問題は、非常に難しいものです。いじめたとする本人に自覚がなくとも、相手がいじめたと感じてしまえばいじめになってしまいます。いじめのない校風作りに努めていただきたい。

(6) 安全教育指導

- ・暗い道を並進しているのを見かける。道路交通法の理解を深めるべき。
- ・安全規範意識などの道徳性は身に付いていると感じるが、自転車通学生のヘルメットの着用は、意識が薄れてきていると感じる。

- ・欠席が多い生徒に対して、早い段階で担任から家庭への連絡を密に取るように心がけている。
- ・地歴公民科と家庭科が連携して消費者教育を行っている。関係機関による講義も行い、生徒の意識も向上している。

- ・来年度の2・3年生は、皿ヶ嶺登山や文化祭など経験していない行事がある。生徒主導の行事が途切れないように工夫していきたい。
- ・コロナ禍によって十分な部活動が行えていない。勝利だけではなく、プレーできる喜びも感じさせたい。

- ・今年度から月1回の「人権の日」に配られるプリントに保護者の意見を聞く欄を設けた。生徒にだけでなく、保護者への啓発活動を今後も継続していきたい。
- ・年に3回行われる「困りごとアンケート」を通じて、いじめの発見に努めているが、日頃の生徒観察やいじめを許さない環境を作ることで、安全・安心な学校を作っていきたい。

- ・本校周辺は狭い道も多く、生徒の自転車通学指導が課題である。月1回の登下校指導を行っているが、これからも自分の命と他人の命を守る安全教育を行っていきたい。

2 学校運営への提言

- ・健全な学校運営がなされているのは、校長先生をはじめ教職員の皆様の日々のたゆまぬ努力のたまものだと理解しており大変感謝している。伝統ある東温高校をよろしく願いたい。
- ・校外においても挨拶がしっかりとできている。電車内のマナーも良い。コロナによってストレスも溜まっている中、真面目な生徒が多いと思う。
- ・学校を訪問した時の際の生徒さんから挨拶をしてもらったり先生方の忙しく活動されている姿を拝見し東温高校はコロナ禍でも大丈夫!と思う。先生と生徒の信頼関係をコロナ禍であるゆえに強く継続していただきたい。
- ・東温市の唯一の高校として、今後もっと地域活動に力を入れてほしいと思う。就職者も多いので、社会参加は卒業してから、必ず役立つと思う。
- ・商業科の生徒数の減少を何とか食い止めた。東温市や地元企業との連携により新たな教育カテゴリーを見出すことができればと思

- ・2年間のコロナ禍で、人と人との交流が減っている。今年度は「どんぐり拾い」で地域の幼児との交流はできたが、地域の行事への参加や交流はほぼなくなってしまっている。コロナが終息すれば地域との交流も積極的に行っていきたい。また、こういう時だからこそ普段からの校内外での挨拶を大切に、登下校中のマナーアップを意識し、地域に愛される東温高としてさらに発展させていきたい。

- ・「えひめ学校教育サポーター企業」を活用し、就職希望の生徒への職業意識の啓発を行っていきたい。また、商業科では東温市の企業、地域資源に関して理解を深め、地域を担う人材の育成に取り組んでいる。これからも地元企業と協力して、職業理解を深め、自己

う。

- ・文武どちらも力を入れているのがわかるので、この方向で引き続きお願いしたい。

優勝並ひに日々目標能力を育成したい。

- ・5類型8コースのメリットを最大限に生かし、進路で実績を上げ、部活動を活発にして東温高の魅力を発信していきたい。